

11月28日（火）1年生授業研究を行いました。はじめての研究授業で緊張している中、一生懸命がんばる1年生の姿が見れましたね。学習発表会もあり忙しい時期だったのですが、貴重な授業提案をありがとうございました。

令和5年11月28日（火） 第1学年

**主題名** 友達を思う心 **内容項目** B10「友情・信頼」

**教材名** 「二わのことり」 **出典** 東京書籍

【授業者より】

- ・参観日や研究授業になると子ども達は緊張し固まってしまう。書く事とも難しい児童がいる。
- ・二匹の気持ちを考えさせたとき、みそさざいの「来て良かった」、「喜んでくれてうれしい」など友達を思う心が出てこなかった。



【協議】

＜教材提示＞

- ・最初に登場人物の状況説明をすることで、教材を把握することにつながった。
- ・板書が紙芝居のようで、登場人物の動きが分かりやすかった。左右からそれぞれの思いを読み取り、中心に中心発問の板書がまとまっており、話の流れも理解しやすかった。
- ・キーワードを提示することでさらに思考させやすくなったのではないかな。

＜教材＞

- ・「親切」ではなく「友情」に迫るのが難しい教材であると感じる。

＜交流＞

- ・1年生でも対話や交流が必要。発表が苦手な子でも誰かと話せる場が必要。

＜振り返り＞

- ・本時の内容と自分たちの経験がなかなかつながらなかった。身近な例から考えさせたら自分事になるのかもしれない。
- ・やまがらさんのひとりで寂しい気持ちを押さえ、「友達と仲良くするためにはどうすればいいか」を振り返りの視点にするのはどうだっただろうか。

【山田校長より】（今後のポイントとなること）

- ・子ども達はどうしても言わないのだろう。恥ずかしがっているのかもしれないが、「発表したい」「言いたい」というように楽しく自分の思いを話すことができるようにしていくことが必要。
- ・役割演技は基本的に書く必要はない。練習を積んで、セリフよりも思いを出させそれをみんなで考えていく。見る側を育てていくことが大切。

